

出題のねらい

ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、的確に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

イ. 各問いのねらい

- ① 人間の本質を死と捉える古代ギリシャの言葉を契機にして、動物の死との比較を通して人間の死の本質を「究極の可能性」と位置づけ、その前に開かれた可能性に向けて生きることによって人間の自由を見出そうとする説明的な文章によって、言葉の知識・意味、文章構成を考慮しつつ内容や筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを的確に表現する力をみる。
- ② 紫式部の和歌に見られる価値観を、清少納言の「枕草子」に見られる記述と比較しながら表現に即して読み解き、それが時代の美意識に抗いながらの創造であったことを明らかにした清水好子の文章を読むことで、古典に関する基本的な知識や内容を読み取る力をみるとともに、古典の中に息づく伝統と個人の感受性とをとらえ、それを的確に表現する力をみる。
- ③ 主人公が子供の時の、突然玄関に運び込まれた大量の果物に驚き、興奮の中で我を忘れてむしゃぶりつくという経験を、後に両親の愛情に包まれたかけがえのない情景として回想する文学的文章を読むことで、文章の表現や構成に配慮しながら登場人物の心情を想像力を働かせつつ読み取り、それを的確に表現する力をみる。